

キンキュウ用手話

SPEEDY WORD

現在、手話はマスメディア等の影響を受けブームとなり、人々の注目をあびています。若い世代の人たちも関心をもちはじめ、手話を覚えようとしており、以前とは違った新鮮なイメージに変わりつつあります。



しかし、実際覚えるとなると多くの時間を費やすうえ、内容も複雑になっているので困難になります。また、聾啞者たちも手話が一部の人たちにしか通じないため、自分たちの

気持ちを短時間で人に伝達するのはとても難しくなります。緊急の場合にも、特に従来の手話では相手に気持ちを伝えようとすると様々な問題が起こってきます。

そこで私たちは、誰にでも覚えやすく分かりやすい、新しい手話を考えました。その名も『SPEEDY WORD』これはきっとすぐにみんなに取り入れられ、全国に普及していくことでしょう。

『調査』

私たちが作り出した手話が実際に通じるかどうか、調査してみました。

	病院へ行く	(ほしい)
今までの手話	頭がいたい ケガをした 熱がでた	こっちにこい 手に入れたい 苦しい 
SPEEDY WORD	病院に行きたい 	集める 手に入れたい 下さい

結果は、従来の手話ではあまり正確に伝わらず、そのためにおもわず口で説明しようとしていたようです。また、単語は分かっているが内容が把握できず、中にはとんでもないかちがいをしていった人もいました。その点、私たちの手話は分かってはもらえましたが、いくつか問題点があるようです。

〈問題点〉

1. 従来の手話は一般の人にはあまり通じなかった。
2. カードや動作だけでは単語しか表わられず、複雑な文章が表現できない。

トイレに行きたい場合

<今までの手話>



これではまず「トイレ」の意味が分からず、伝わるまで時間がかかります。

<SPEEDY WORD>



小さい子供から大人、外国人まで誰にでもすぐに分かります。

『苦しい』『痛い』



両手で自分の首をしめる動作をする。

『助けてほしい』『手伝ってほしい』



左手を上にして、胸の前で「S・O・S」の「S」の字を作る。

『電話してほしい』



左手の親指と小指をたて耳にそえ、右手はアッシュする様子を表す。

『きてほしい』『呼んでほしい』



右手で招く動作をする。

『ききたい』『しりたい』



右手を耳にそえ、首をかきける。

『ほしい』



両手をひろげ、かかえこむように胸の前に持ってくる。

SPEEDY CARD

「SPEEDY WORD」に加え、さらに分かりやすくするために「SPEEDY CARD」を考えました。このカードは、本当に緊急の時に使用するもので、行きたい場所（例えば、病院など緊急を要する場所）を記号・日本語・英語の3種類で分かりやすく表しました。



表



裏



『利点』

- Ⅰ. 短時間で正確に気持ちを伝えられる。
- Ⅱ. 誰にでも覚えやすく、分かりやすい。
- Ⅲ. カードはコンパクトサイズにまとまっていて手軽である。

『まとめ』

この作品を制作するにあたって、手話に対する私たちの関心もさらに高まりました。この「SPEEDY WORD」「SPEEDY CARD」を利用すれば、手話が今まで以上に輪をかけて、身近な存在になっていくと思います。そして、相手の気持ちを理解してあげ、少しでも役に立ってあげたいものです。